



当院の働き方改革の取組(看護職員)

令和8年度『看護職員』の負担軽減及び処遇の改善計画

現状・問題点	対応方針	具体的な計画
看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画		
夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理等に関する項目の実施	夜間を含む交替制勤務に従事する看護要員の勤務間インターバル(11時間以上)の確保	○看護職員の人員需要について継続して分析を行う ○離職者対策を行い、業務維持のための適正な人員確保を継続 ○業務量に合わせた傾斜配置を検討するとともに、部署間応援の体制を整備 ○子育て中の職員の夜勤実施者増加に向けた取り組みを行う
	夜間を含む交替制勤務に従事する看護要員の連続して行う夜勤の数の制限(2回以下)	
	看護補助者の適正配置	○看護補助者の教育を進め、タスクシフトに向け、さらなる業務拡大を目指す ○看護補助者のキャリアラダーの整備と、ラダーに応じた処遇の検討
	院内保育所の充実	○保育期間はもちろんのこと、学童期における子育て支援に関しても検討を進める ○引き続き、満足度の向上とサービス・体制の充実に努める
予定入院患者の情報収集、説明事務についての業務軽減	入退院支援センターにおいて、入院前から退院支援まで一貫したサービスを提供しつつ、各科外来・病棟における看護業務の軽減を図ること	○引き続き入院前面談の当日予約患者を広く受け入れ、外来看護師と病棟看護師の業務負担軽減を図る
	患者支援の総合窓口として、医事部門や患者相談部門の統合も視野に入れ、患者サービスの向上と併せ、業務の効率化による看護職員の負担軽減を図ること	○組織体制について関係所属間での協議・検討を継続
時間外勤務の要因となっている看護記録等に係る事務の効率化	患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の効率的な運用	○ユニット滞在の精度を上げるため、患者状態を評価する移行ロジックの運用と共に、ユニット「手術」への入りと出の移行のタイミングの徹底 ○各ユニットの平均滞在時間の妥当性、標準偏差の多いユニット分析を行う ○逐次入力 of 推進
	患者説明における質の向上と看護職員の負担軽減を図ること	○動画説明の利用目的を明確にし、活用できる場面での動画作成ツールの利用を促進